

# 平成 20 年度事業報告書

平成 21 年 5 月 29 日

有限責任中間法人 日本エレクトロニクスショー協会

# 平成 20 年度 事業報告

有限責任中間法人 日本エレクトロニクスショー協会

## 1. 協会運営事業

総会、理事会、運営委員会等を開催し、当協会の運営に関する重要事項を審議し、CEATEC JAPANをはじめする展示会事業を実施した。

### 1-1. 通常総会

平成 20 年 5 月 30 日 第 2 回通常総会を開催し、次の議案を議決した。

(出席者は、会員代表者を含む 29 社、委任状 27 社の計 56 社(会員総数 96 社)で総会成立。)

- |         |                            |
|---------|----------------------------|
| 第 1 号議案 | 平成 19 年度事業報告及び決算報告承認の件     |
| 第 2 号議案 | 平成 20 年度事業計画案及び収支予算案審議決定の件 |
| 第 3 号議案 | 役員選任の件                     |
- 新会長として(株)日立製作所の庄山会長が就任した。

### 1-2. 理事会

- 平成 20 年 5 月 20 日 第 4 回理事会を開催し、次の議案を審議決定した。  
審議事項 ①会員の入退会に関する件  
②第 2 回通常総会附議議案に関する件
- 平成 20 年 10 月 10 日 第 5 回(書面)理事会を開催し、次の議案を審議決定した。  
審議事項 ①会員の入会に関する件  
②理事の選任に関する件
- 平成 21 年 2 月 1 日 第 6 回(書面)理事会を開催し、以下の議案を審議決定した。  
審議事項 ①理事・監事の選任に関する件

### 1-3. 運営委員会

- 平成 20 年 5 月 15 日 第 8 回運営委員会を開催し、次の事項を審議した。  
第 4 回理事会議案及び第 2 回通常総会議案書
- 平成 20 年 7 月 24 日 第 9 回運営委員会を開催し、次の事項を報告・審議した。  
入会申込、JESA 会員へのサービス向上対応、一般社団法人移行手続き経過報告等
- 平成 20 年 11 月 27 日 第 10 回運営委員会を開催し、次の事項を審議・報告した。  
一般社団法人への移行に関するスケジュール、定款改正、新経理システム導入、整備すべき規程等
- 平成 21 年 2 月 18 日 第 11 回運営委員会を開催し、次の事項を報告・審議した。  
一般社団法人移行に関する今後スケジュール、定款(案)、理事に関する事項等

## 2. 展示会事業

### 2-1. 「CEATEC JAPAN 2008」

(1) 平成 20 年 9 月 30 日（火）より 10 月 4 日（土）までの 5 日間、「デジタルコンバージェンス、新たなるステージ」を 2008 年のメインテーマとし、千葉市・幕張メッセ（1～8 ホール）にて開催した。主催は、社団法人電子情報技術産業協会、情報通信ネットワーク産業協会及び社団法人コンピュータソフトウェア協会の 3 団体、後援は、経済産業省、総務省、日本放送協会他 16 省庁・団体、協賛は、社団法人日本経済団体連合会他 20 団体と各方面から多くの協力が得られた。

(2) 本展示会の開催のため、「CEATEC JAPAN 2008 実行委員会」を 8 回開催するとともに、傘下に「ブランディングタスクグループ」、「オペレーションタスクグループ」、「ビジネス展示会化タスクグループ」の 3 つのタスクグループを編成して、前年度からの課題の解決のための検討を行った。また、最先端 IT・エレクトロニクス総合展として拡大、発展させるために次の 3 項目を今年度の目標とした。

①国内出展者・海外出展者の増加（キープレイヤの出展誘致活動）

②国内来場者（21 万人を目標）・海外来場者（UFI 国際展示会基準対応）の増加

③海外プレスの増加（海外パブリシティ活動の見直し）

上記を達成すべく、同実行委員会は、CEATEC JAPAN 2008 の実施計画を立案し、主催 3 団体の役員で構成する「実施協議会」の承認を得て、開催、運営を行った。

(3) 開催初日 9 月 30 日（火）正午からホテルニューオータニ幕張にてオープニングレセプションを開催した。CEATEC JAPAN 実施協議会会長による主催者代表挨拶の後、総務省、経済産業省からの来賓祝辞につづき、来賓と主催 3 団体会長により、CEATEC JAPAN 2008 の幕開けを飾るテープカットをとり行った。日本放送協会来賓の乾杯の後、出席した企業経営幹部、関連団体招待者等により、和やかな歓談の場がもたれた。

また、開催 2 日目の 10 月 1 日（水）午後 5 時 30 分からホテルニューオータニ幕張にて、海外来場者、外国大使館関係者、国内外の出展者、マスコミ関係者らを招き、インターナショナルレセプションを開催した。国際交流や国際的なビジネスチャンスの拡大を図るための出会いの場として活用された。

(4) 本年の出展者数は 804 社（前年比 90%）、出展小間数 3,121 小間（前年比 98%）、うち海外出展数は、27 カ国・地域（前年比 135%）から 289 社（前年比 83%）となった。

また、「つなぐ」をキーワードに展開した特別展示・企画は、「人をつなぐ」として新世代ネットワーク、モバイルネットワーク、コンテンツ、「技術をつなぐ」としてオートモーティブ、ナノテクノロジー、日本のものづくり、「次世代をつなぐ」としてデジタル放送時代に向けての準備、次世代へつなぐ地球環境、次世代を担う人材育成などのテーマを設け実施した。

(5) 展示会場では得られない最新情報を提供することを目的に開催したコンファレンスは、主催 3 団体会長のキーノートスピーチを含め、合計 138 件を実施し、聴講者数は延べ 13,655 名となり、非常に熱心に聴講いただいた。

10 月 4 日（土）には、大学生向けの仕事研究サポートイベントを実施し、経済産業省、出展企業のエンジニアや人事担当者の講演会を開催、終了後には学生の出展企業のブー

ス視察企画を行った。

- (6) 開催 5 日間の登録来場者数は 196,630 名（前年比 96%）となった。本年の会期は、多くの企業会計上の期をまたぐ日程となったため、9 月 30 日（火）と 10 月 1 日（水）の来場者数が昨年実績を下回った。しかし、期間中 2,294 名にのぼるマスコミ関係者の取材があり、出展者の新技術・新製品情報が国内外のテレビ、新聞、雑誌、Website 等に多数採り上げられた結果、厳しい経済環境下にもかかわらず、10 月 3 日（金）には、1 日の来場者数として過去最多を記録するなど盛況であった。

また、10 月 4 日（土）は、イベントホールや出展者ブースで開催された工作教室や科学実験ショー、体験教室に多くの親子連れの姿が目立った。

## 2-2. 「Inter BEE 2008」

- (1) 平成 20 年 11 月 19 日（水）から 11 月 21 日（金）の 3 日間、千葉市・幕張メッセ（2～8 ホール）にて開催した。主催は、社団法人電子情報技術産業協会、後援は、日本放送協会及び社団法人日本民間放送連盟の 2 団体の協力が得られた。

本展示会は、「音と映像と通信のプロフェッショナル展」をキャッチフレーズに掲げ、国内外のトップレベルの放送機器、映像機器、音響機器、アプリケーションやソリューション等を一堂に会し、広く放送関係者をはじめ、スタジオ、ポストプロダクション、コンテンツ制作関係者などを対象に、国際的な技術交流と広範な需要開拓のビジネスコミュニケーションの場を提供すべく開催した。

- (2) 本展示会の開催のため、「Inter BEE 2008 実行委員会」を合計 4 回開催し、企画、運営等について検討を行った。

本年は、従来のプロオーディオ部門及び映像・放送関連機材部門に、プロライティング部門を加えた 3 部門の構成とした。

- (3) 開催初日 11 月 19 日（水）午前 9 時 45 分より展示ホール中央エントランスにおいて開会式を開催。主催者を代表し実行委員長の開会宣言につづき、キーノートスピーカーらとともに Inter BEE 2008 の幕開けを飾るテープカットをとり行った。

また、同日午後 6 時からアパホテル&リゾート〈東京ベイ幕張〉においてレセプションパーティを開催した。JEITA 専務理事の主催者代表挨拶の後、社団法人日本民間放送連盟の来賓祝辞、日本放送協会の来賓による乾杯の後、出展者、関連団体招待者、マスコミ関係者など、交流と歓談の場として活用された。

- (4) 本年の出展者数は過去最高の 781 社（前年比 104%）、出展小間数 1,968 小間（前年比 98%）、うち海外出展数は 26 カ国・地域（前年比 100%）から 400 社（前年比 103%）となった。

- (5) 本展示会では、機器展示と密接に連携した Inter BEE Forum 2008 を企画し、本年は「新たなメディアの“風”の可能性と変化」をテーマに掲げ、キーノートスピーチ、放送ビジネスシンポジウム、映像シンポジウム、音響シンポジウムなど、最先端で活躍するクリエイターやエンジニアが、話題性の高いメッセージを発信した。

また、今回より新たに次世代に向け後進育成に寄与する「チュートリアル・セッション」、さらにアジアのテレビ番組の紹介のほか、番組コンテンツや CG クリエイターコンテンツに入賞したコンテンツを紹介する「Asia Contents Theater」を開催した。

さらに、第 45 回民放技術報告会、DTV Workshop 2008、IPTV Summit、第 10 回 NAB 東京セッションが同時開催された。

- (6) 開催 3 日間の登録来場者数は過去最多の 35,715 名（前年比 100.2%）、うち海外登録来場者は 597 名（前年比 63%）となった。

### 2-3. 「EDSFair 2009 (Electronic Design and Solution Fair 2009)」

- (1) 平成 21 年 1 月 22 日（木）・23 日（金）の 2 日間、横浜市・パシフィコ横浜（展示ホール C・D）にて開催した。主催は、社団法人電子情報技術産業協会、後援は、経済産業省、米国大使館、横浜市、外国系半導体商社協会、協賛は、関連 3 団体からの協力が得られた。

本展示会は、半導体や電子システムの開発に不可欠となる、EDA 技術、IP 再利用技術、組み込みソフトウェア技術、各種設計サービス等の最先端設計ソリューションの展示を行うもので、今回のテーマは、「未来を設計する！～先端技術を見て、聴いて、感じる 2 日間～」とした。

- (2) 本展示会の開催のため、「EDSFair 2009 実行委員会」を合計 7 回開催した。傘下に「出展誘致ワーキンググループ」「来場誘致ワーキンググループ」を組織し、各企画、運営等について検討を行った。

- (3) 開催初日 1 月 22 日（木）午前 9 時 40 分より会場入口において開会式を開催した。JEITA 半導体部会部会長の主催者挨拶につづき、経済産業省、米国大使館、横浜市の来賓から祝辞をいただき、祝辞をいただいた来賓に主催者の JEITA 半導体部会部会長と専務理事の 5 名にて EDSFair 2009 の幕開けを飾るテープカットをとり行った。

- (4) 本年の出展者数は 143 社（前年比 84.6%）、出展小間数は 317 小間（前年比 93.5%）となった。

また、特別展示企画として、電磁界解析・SI/PI テクノロジ・ゾーン、FPGA ビレッジ、新興ベンダエリア、インドパビリオン、JEVeC ビレッジ、ユニバーシティプラザを実施した。

- (5) 開催期間中に、キーノートスピーチをはじめとし、出展者セミナーを 10 会場で 104 セッションを実施したほか、第 16 回 FPGA/PLD Design Conference、会場内特設ステージでのオープンセッションや振興ベンダープレゼンテーション等、多彩なセミナーを開催した。

また、システム・デザイン・フォーラム 2009、第 14 回アジア南太平洋設計自動化会議（ASP-DAC 2009）が同時開催された。

- (6) 開催 2 日間の登録来場者数は、9,117 名（前年比 87.4%）となった。来場者サービスとして、エンジニアが業務で今かかえている技術課題を解決するソリューションが一目でわかるコンシェルジュサービス、設計技術の第一人者が海外新興企業の主要な技術を日本語で紹介する振興ベンダガイドツアーを実施した。

### **3. 海外との連携活動及び広報活動**

#### **3-1. 海外関連展示会主催団体等との連携活動**

当協会の主要事業である展示会の国際化促進を図るため、次の海外関連展示会の主催団体等と、広告、プレスカンファレンス、出展誘致など相互協力を行うとともに、各展示会の情報収集活動を行った。

##### **(1) CEATEC JAPAN の海外広報活動**

###### **①IFA 2008 ベルリンショー（平成 20 年 8 月 29 日～9 月 3 日／ドイツ・ベルリン）**

会期中の 8 月 30 日に同 IFA プレスセンター隣接ホールにおいて、CEATEC JAPAN 2008 のプレスコンファレンスを開催した。CEATEC JAPAN 2008 の開催概要等の資料を来場プレスに配布。

###### **②CISIS（第 6 回中国国際ソフトウェア・情報サービス交易会）**

（平成 20 年 6 月 19 日～6 月 22 日／中国・大連市世界博覧広場）

会期中に、ブース出展し CEATEC JAPAN 2008 の PR 活動を行った。開催概要等の資料を来場者に配布。

###### **③AEES2008（上海アジア電子展）**

（平成 20 年 11 月 12 日～15 日／中国・上海新国際展覽中心）

会期中に、JES 上海の JEITA 知的財産権保護 PR 関連ブースにおいて、CEATEC JAPAN の PR 活動を行った。映像による紹介および開催概要等の資料を来場者に配布。

###### **④Consumer Electronics Show（CES）**

（平成 21 年 1 月 8 日～11 日／米国・ラスベガス）

会期中の 1 月 9 日にホテルベネチアンの会議室にて CEATEC JAPAN 2009 プレスコンファレンスを開催し 72 名の記者が出席。CEATEC JAPAN 2009 の資料を会場で配布。

###### **⑤台湾・TEEMA（Taiwan Electrical and Electronic Manufactures' Association）**

協力説明会 平成 21 年 3 月 6 日（台湾）

現地の CEATEC JAPAN2009 の出展に関心のある現地企業およびプレス関係者に対して、出展募集説明会を行った。CEATEC JAPAN 2009 の出展募集関連資料、プレゼンテーション資料等を配布。

##### **(2) Inter BEE の海外広報活動**

###### **①NAB（National Association of Broadcasters）2008**

平成 20 年 4 月 14 日～17 日（米国・ラスベガス）

会期中に Inter BEE のブースを開設してプロモーションを実施した。

###### **②BCA（Broadcast Asia）2008**

平成 20 年 6 月 17 日～20 日（シンガポール）

展示会調査視察とともに主催団体および関連団体とのパートナーシップ締結のミーティングを実施した。

###### **③IBC（International Broadcasting Convention）2007**

平成 20 年 12 月 12 日～16 日（オランダ・アムステルダム）

会期中に Inter BEE のブースを開設してプロモーションを実施した。

### (3) EDSFair の海外広報活動

#### ①DAC (Design Automation Conference) 2007

平成 20 年 6 月 9 日～12 日 (米国・アナハイム)

EDSFair 2009 の PR 活動、新興企業向け会合を開催し、出展誘致活動を行うとともに、DAC の視察を行った。

### 3-2. 海外における JEITA 主催の展示会等への支援活動

#### (1) 「第 6 回 中国国際ソフトウェア・情報サービス交易会 (CISIS) 2008」

平成 20 年 6 月 19 日～22 日までの 4 日間、中国大連市「大連世界博覧広場」で開催された本展示会において、JEITA 及び大連市・信息产业局共同主催で「JES Dalian 2007」を開設した。経済産業省及び独立行政法人日本貿易振興機構の後援により、出展した JEITA 会員企業 1 社の支援と JEITA 及びグリーン IT 推進協議会の PR、CEATEC JAPAN 2008、Inter BEE 2008 及び EDS Fair 2009 の紹介を行った。また、JEITA 及び JETRO 共同企画による知的財産権保護 PR 展示を行った。

#### (2) 「AEECC (Asia Electronics Exhibition Cooperation Conference)」

平成 20 年 7 月 13 日～19 日の 4 日間、札幌市にて上記 AEES の主催 5 団体 (日本 11 名・台湾 6 名・韓国 3 名・北京 4 名・香港 1 名) による会議を開催し、各団体が自国で開催する展示会の状況報告と相互協力強化について意見交換を行った。次回は、台湾で開催することとした。

#### (3) 「AEES 2008 (Asia Electronics Exhibition in Shanghai 2008)」

平成 20 年 11 月 12 日～15 日までの 4 日間、中国・上海市「上海新国際展覧中心」で当協会を含むアジア 5 カ国の展示会運営団体の共同主催による展示会において JEITA 主催のパビリオン「JES Shanghai 2008」の運営、JEITA 会員企業 1 社の支援、(財) アジア経営開発協力財団 (FAMD) 及びグリーン IT 推進協議会の活動紹介等を行った。

また、特許庁/JETRO/JEITA 共同出展の知的財産権保護ブースでは、JEITA 監修のもと、パナソニック (株)、日本電気 (株)、セイコーエプソン (株)、オリンパス (株)、有限責任中間法人カメラ映像機器工業会 (CIPA) による知的財産権保護に関する展示や映像による啓蒙活動を支援した。

同時開催の第 72 回 China Electronics Fair と併せて、合計 2,100 ブースが出展し、約 6 万人が来場した。

## 4. 受託事業

事業名「平成 20 年度コンテンツ国際取引市場強化事業 (ソフトとハードの連携による新しいライフコンテンツ創出促進事業)」

本事業は、平成 19 年度からの継続事業であり、本年度は経済産業省で策定が進められているコンテンツ分野の技術戦略マップを基盤に、産業創出の促進を目的としてソフトウェアとハードウェアが連携したコンテンツの生活シーンにおける新しい役割と可能性をテーマに、CEATEC JAPAN 2008 デジタルネットワークステージ内に「ライフコ

ンテツ フロンティア」(40 小間)を設置した。また、専用インターネットサイトによる情報訴求やコンファレンス内でセミナーを実施し、技術によるコンテンツの新しいコンテンツの可能性について提言を行った。

出展ブースには 9 事業者が参加。半導体、ソフト・ミドルウェア、音楽機器、情報家電、自動車、映像制作などの周りのコンテンツの役割、将来像を提案し、高い評価を得た。

## 5. フォーラム及びセミナーの運営事業

JEITA 及び関連団体が主催する次のフォーラム・セミナーの運営を行った。

### (1) 医用電気機器規格 IEC 活動報告セミナー

開催日：2008 年 6 月 9 日 (月) 聴講者数：延べ 157 人  
会場：国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟 大ホール  
主催：JEITA 医用電子システム事業委員会 ・ME 標準化専門委員会

### (2) 電機・電子 5 団体 環境フォーラム 2008

会期：2008 年 6 月 9 日 (月) ～10 日 (火) 聴講者数：延べ 303 人  
会場：ベルサール九段 ホール A・B  
主催：社団法人 電子情報技術産業協会 (JEITA)、財団法人 家電製品協会 (AEHA)、情報通信ネットワーク産業協会 (CIAJ)、社団法人日本電機工業会 (JEMA)、社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会 (JBMIA)

### (3) JEITA 鉛フリー化 活動成果報告会 2008

【大阪会場】開催日：2008 年 7 月 1 日 (火) 会場：メルパルク大阪 5 階カナーレ  
【東京会場】開催日：2008 年 7 月 4 日 (金) 会場：芝浦工業大学大講義室  
主催：JEITA 実装技術標準化専門委員会 聴講者数：延べ 182 人

### (4) ME 市販後安全管理 説明会

開催日：2008 年 7 月 18 日 (金) 聴講者数：60 人  
会場：(社) 電子情報技術産業協会 503/504/505 会議室  
主催：JEITA 医用電子システム事業委員会 ME 市販後規制分科会

### (5) 医療関連「ソフトウェアライフサイクルプロセス」原案 JIS T 62304 (仮番号) セミナー

開催日：2008 年 12 月 19 日 (金) 聴講者数：229 人  
会場：国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟 大ホール  
主催：JEITA 医用電子システム事業委員会 ME 標準化専門委員会

### (6) 第 14 回アジア南太平洋設計自動化会議 (ASP-DAC 2009)

会期：2009 年 1 月 19 日 (月) ～22 日 (木) 聴講者数：延べ 531 人  
会場：パシフィコ横浜 (EDSFair 2009 と同時開催)

### (7) システム・デザイン・フォーラム 2009

会期：2009 年 1 月 23 日 (金) 10:00～12:00、12:45～16:30 (2 セッション)  
会場：パシフィコ横浜 (EDSFair 2009 と同時開催)  
主催：JEITA EDA 技術専門委員会 聴講者数：延べ 216 人

(8)医用電気機器の EMC 規格 IEC 60601-1-2 第 4 版 東京会議報告

開催日：2009 年 2 月 27 日（金） 聴講者数：116 人  
会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟 大ホール  
主 催：JEITA ME 標準化専門委員会

(9)第 3 回産業社会制御システムフォーラム

開催日：2009 年 3 月 6 日（金） 聴講者数：86 人  
会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 416 号室  
主 催：JEITA 情報・産業社会システム部会 制御システム専門委員会

(10)医療関連セミナー「医療機器のヒューマンファクターエンジニアリングへの対応」

開催日時：2009 年 3 月 19 日（木） 聴講者数：76 人  
会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟 大ホール  
主 催：JEITA 医用電子システム事業委員会 ME 技術対応専門委員会

(11)「IEC 医用電気機器安全通則の主要副通則合同セミナー」

開催日時：2009 年 3 月 24 日（火） 聴講者数：94 人  
会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟 大ホール  
主 催：JEITA 医用電子システム事業委員会 ME 標準化専門委員会

## 6. 展示会関係資料の発行

各展示会の次の関係資料を発行し、関係方面に広く無償配布した。

- ①「CEATEC JAPAN 2008 英文ダイレクトリー」
- ②「CEATEC JAPAN 2008 いちおしナビ ハンドブック」
- ③「Inter BEE 2008 ガイドブック」（和文版・英文版）
- ④「Electronic Design and Solution Fair 2009 ガイドブック」
- ⑤当協会で開催する 3 つの主要展示会の実施報告書

以 上